

TOPICS

ホテル宍道湖様 地下タンク新設
 お客様紹介：根雨自動車整備(株)
 社長が薦める今月の一冊
 今月のクイズ：スターバックス
 コーヒープレゼント

ホテル宍道湖様 地下タンク新設



地下タンクが搬入され、設置される様子。



完成した地下タンクの前で、山崎支配人（写真右）と植尾工事責任者。

当館は、地方職員共済会館として、昭和50年に設立され、来年開館40周年を迎えます。地下タンクも埋設後40年を経過しており、タンクの状態が懸念されていました。

昨年、タンク開放時にタンク内の状態を確認され、このたびタンク新設となりました。8月中旬から、作業が始まり、10月8日に消防署による完成検査を終えました。発注先のホテル宍道湖様からは、メンテナンスに入っている業者なら安心と、今までの実績を評価していただきました。

ホテル宍道湖の山崎支配人は、自らタンク設備の確認をしておられます。検尺棒で残油量の確認、日々の重油使用状況、館内の空調調節などこまめにチェックし、効率的な燃料の使用を

図っておられます。「施工前から、こまめに打ち合わせをしていただき、対応がとてもよかった。トラブルなく施工していただき、満足している。当館は県民のための施設なので、県民に役立つように運営していきたい」と、うれしいお言葉をいただきました。

植尾工事責任者は、「段取りが大変で、営業の榎並主任と一緒に打合せを重ね、工程通りに完成できました。他の業者様と毎日のミーティングを通して、コミュニケーションがうまくとれ、安全に順調に作業ができ、感謝しています。今後このような機会があれば、チャレンジしていきたい」と植尾工事責任者は、感慨深く振り返りました。

(聞き手長野)

根雨自動車整備株式会社 様

〒689-4501

鳥取県日野郡日野町貝原153番地

TEL 0859-72-0143

FAX 0859-72-1205



さわやかな笑顔でお客様をお迎えする、田辺様（写真右）と小谷様。

ムーブねう

「エンジンで動くものなら何でもメンテナンスします」と

いわれるように、自動車やバイク、除雪機や発電機、自転車までもメンテナンスします。車販売においては、全メーカーの自動車を扱っています。



ロードサービス

また、24時間体制で、ロードサービスも行っており、需要が伸びています。高速道路での自損事故やこれから冬季に向かい、雪によるトラブルなど、お客様の「困った」に応えるべく、従業員の皆様は準備万端です。遠くは関西から岡山、広島方面への搬送もたびたびです。お客様の「助かった。ありがとう」の感謝の言葉が心の支えになり、また、活力源になっています。

先日、米子道で事故に遭われたお客様の対応をしたとき、後日、わざわざそのお客様がお礼に来社されました。このときは、大変うれしかったです。また、お客様から、メンテナンス後満足していただき、次の依頼を指名していただいたときも、大変喜びました。



積雪シーズンで大忙しです
え、除雪機のメンテ



ロードサービスの車輛です

社内のコミュニケーション

従業員皆明るく、チームワークバッチリで、会社の雰囲気がとてもよいとお客から評判です。顔見知りのお客様がほとんどで、お客様からご指名いただいています。

また、従業員皆、勤務年数が長く、地域に根差した会社といえます。従業員それぞれの資格、得意分野、経験年数などに応じ、社内での作業を細かく調整し、作業を行ないます。その結果、お客様の要望を叶え、そしてお客様の満足度を高めていきます。

「お客様の立場に立った対応を心がけ、さらにお客様に喜んでいただけるよう、使命感を持って取り組んでいきます。自転車やバイク、その他の機械等オールマイティにメンテナンスします。お困りのときは何でもご相談下さい。」と、柴田様からうれしいお言葉をいただきました。

（聞き手長野）



対応していただいた柴田様



「少ない人数で助け合って仕事しています。いろいろな車輛が入庫するので、やりがいがあり楽しいです。積雪シーズン前にはてんてこ舞いです」と平野様

三原くんの職場体験

9月24日から3日間、職場体験学習で湖陵中3年の三原君が来社し、タンク改修作業を体験しました。指導役は、河上部長と藤原社員で、作業を進めていきました。

お客様先から引き取ったタンクを、1日目はスラッジを取り除き掃除。2日目は、錆や塗装を取り除くケレン作業。3日目に錆止め塗装（2回）、本塗りをして完成という計画で、順調に進みました。初体験ながら、ケレン作業が一番面白かったと言い、また、塗装



指導役の藤原社員（写真左）と三原君。タンク改修でき、大喜びでした。

など器用にこなしていました。「汚いタンクが3日間で新品同様になって、うれしい」と、満足感でいっぱいでした。

今回の職場体験で、見て体験して学んだことを今後の職業選択に役立てて欲しいと思います。（長野）

鳥取法人会視察研修旅行

9月19,20日の二日間鳥取法人会の視察研修旅行に参加させていただきました。

初日最初に東広島西条の加茂鶴酒造という創業400年近い酒造会社へ見学に行きました。現在はオフシーズンということで杜氏や蔵人の方はいらっしゃいませんでしたが、見学担当の方の丁寧な説明と客を飽きさせない語り口にすっかり引き込まれました。長年に渡って作り上げられ継承され続けている「技」にこれが伝統という物かと感じさせられました。

しかし、その伝統は危機にあるようです。杜氏や蔵人の仕事は厳しく若者がほとんどいなくなってしまうそうです。また、杜氏の「技」はデジタル化できるものではなく時間を掛けて継承していかなければなりません。ここにも人の問題が押し寄せているとつくづく感じる瞬間でした。

次に廿日市のカルビーの工場を見学しました。見学内容は子供向けの物でしたが、酒造とは違い、各所がオートマチック化された工場の商品を次々と作って行く様子は同じ食品をつくるという「ものづくり」でありながら全く違うことをしているように見えます。しかし、消費者（お客様）のことを第一に考えているということは同じです。常にお客様に目を向けていなければ、伝統も最新鋭工場も存在し続けることはできないのだなと思いました。

今回の視察研修に参加して自身の知識の幅を広げることができたのは大きな収穫でしたが、それよりも参加者の方々の親睦を深めることができたのが最大の収穫ではないかと感じています。（抜粋）

（大國）

「おおきな木」を読んで シェル・シルヴァスタイン著

私が最初に感じたことは、この大きな木がまるで母親のようだという事である。少年のことを温かく見守り、少年の願いを大きな愛で叶えてくれる、まさに母親の子に対する無償の愛である。

子供が困っていれば、親というものは、何はさておき、子供の願いを叶えてくれるものである。昔の親の心が表れている。

しかし、現代の親はどうだろうか、自分勝手な自分のことしか考えない親が多いように思う。

果たして、私も昔の親のようにできているだろうか、そこまでできていないように思う。

私には、もう母親しかいないが、親にいままでのことを感謝し、これから

は大切にしていきたいと思う。そうする姿を見せることで、わが子も少しは今の私の姿を見て育ってほしいと思う。

（加藤）





美しいふるさとを守る (4) 北欧の企業に学ぶ

社長 山根久志

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

今私は、日本経営合理化協会主催の北欧視察中です。その理由は、人口は少ないけれども、1、世界第3位の企業競争力をもつ。2、世界一の福祉国家。3、世界一幸せな国であるとの表現に惹かれました。

翻（ひるがえ）って、私たちは人口減少、少子高齢化の最先端にいる。わたしたちが原料とする使用済み潤滑油の発生は急速に減少へと進む。競争は激化する。そんな状況下、私たちが成長発展できるヒントを学びたいと考えました。

まずサムハル社の障がい者支援の考え方や、IKEA（イケア）の店舗における障がい者の就業状況を見学しました。社員教育について学んだことは、

- 1、社員同士がよく話し合う。
- 2、「この人はこれができない」ではなく、「この人はこれができる」という考え方に成長させる。

私がよく言う、自分にしても、他の人にしても「悪いところに注目するのではなく、良いところを伸ばす」という考え方と行動とに共感しました。

- 3、「あなたは必要なのよ」から始め、「自分は役に立っているんだ」という認識にまで育て

る。

- 4、そして健常者にはない障がい者の強みを引き出す。

イケア社の理念は、「全ての社員が大切な人的資源と見られ、スウェーデンに貢献する」とあり、両社とも、人を大切にそして育てるという方針に感心しました。

次はハッピーソックス社。「日常的なものに大胆さを」とのコンセプトで、自由かつ達なデザインのソックスを、世界中に販売する。僅か40名の社員（日本人女性一人）と35ヶ国1500店舗（三越、伊勢丹、パルコを含む）とブログで世界中に販売する。本社が明るくオープンで、しかも小さく質素。しかしどこかに緊張感が感じられる。

町を一人で歩いていると、日本の大都市のあのざわざわとした騒がしさはなく、静かに、ゆったりと時は流れているように感じる。しかし少ない人口のこの地域で、しかも高福祉を賄う高税金を負担し、なおかつ企業の競争力が高い。

この数日の北欧での滞在だけれど、会社発展のヒントを掴みます。

私はこう考え、こう実行します

【安原】社員との対話を増やし、社員の良いところに注目して、良いところをもっと伸ばす。

【河上】トラブル対応は早く、ロスは小さくする。

【松下】社員と会話をすることで、コミュニケーションを深める。

【岸本】成長発展できるようなヒントをいろいろな目で見れるように心に余裕を持ちたいと思います。

【榎並】お客様だけでなく、積極的に社員とコミュニケーションをとります。

【山口】私は人の良いところを見つけ、良いところを誉めます。

【吾郷】私は、風通しの良い企業を目指します。

【大國】発想を豊かにもって挑戦することを意識する。

【木村】デカンタを早く導入する。

【木村憲】ポジティブに考える。

【高橋】私は、お客様満足の最終使用者を理解し、行動します。

【長谷川】他社にできないサービスを充実させます。

【松本】たくさんの人と触れ合うことで自分の感性を磨きます。

【横地】日々の業務を面倒がらず、「お客様から原料をいただいた」という気持ちで作業します。

【岡田】他人の良いところと自分の良い所を伸ばせる人になります。

【植尾】自分の良い部分を探します。

【小村】無駄なアイドリングをせず少しでも環境についての意識を高める。

【恩村】形式にとらわれず、良いものは取り入れていきます。

【藤原拓】お客様が安心してくださる仕事をします。

【金森】自分の良いところを見つけます。

【藤原】道具類を大切に扱います。

【安達】必要な人材になるため、日々努力する。

【野々村】安全運転、安全作業で日々の業務に取り組みます。

【宮北】自分のすべき事をしっかりと行なう。

【清水】私は、ヒントを掴み発展し

ていきます。

【松浦】人の良いところに目を向けます。

【石川】製造の知識を深める。

【石橋】上司への相談、社員の話し合いが自分に役立つ。

【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全(KY)を徹底し、安全作業が出来るように常にチェックして、作業を行ないます。

【足立】私は仕事において「自分の良いところ」を見つけ、伸ばしていきます。

【藤田】話し合いを大切にし、協力し、仕事を進めます。

【三原】よく話し合い、よく理解し合うことを大切にして仕事をします。

【加藤】社員間で「（ルールを守る）」ことの大切さを日常のコミュニケーション等による徹底。

【長野】各社員の特性を尊重し、良いところをPRしていく。

社会福祉法人敬仁会だより 松江市消防音楽隊の演奏に手拍子!!

9月10日、敬仁会の敬老会において、松江市消防音楽隊の皆さんのすばらしい演奏が披露されました。仕事の合間をぬって、23名もの音楽隊隊員の方が集まれ、大迫力の演奏となりました。お馴染みの美空ひばりの「川の流れるように」では、口ずさむ利用者様がおられ、マイクを向けるとしっかりと歌詞を覚えておられ、一緒に歌っていただきました。

演奏する音楽隊員と利用者様との距離が近く、顔の表情などが直接、音楽隊員に伝わり、すばらしい演奏会になりました。

(聞き手長野)



「お客さまからいただいた貴重な機会」

先日伺ったお客さまから、「仕事の進め方やお客さまとの接し方、技術やサービスの継承など、会社を背負う次の社員を一人前に育てていき地域のお客さまに貢献できる会社にするのが私の役割です」と。

ここのところ競合他社と戦いながら僅かな利益を追求しなければならない状態が続いているが、その僅かな利益を優先する余りお客さまのことを忘れ自分の都合を優先してしまうことがある。そのようなことをしていればお客さまは離れてしまい、会社を継続するための利益すらいただくことが出来なくなる。お客さまの要望を最優先に行動して、満足していただける商品・サービスを提供することでお客さまや地域社会から必要とされる会社になれることを伝えていきたい、とおっしゃいました。

「お客さまのことを最優先に行動しているだろうか」「自分の都合を優先していないだろうか」「お客さまの立場から商品やサービスを考えているだろうか」

今一度自らを振り返って考える機会をいただいた。ありがとうございます。

(安原)



「森のようちえん まるとんぼう」 開園5周年記念パーティに参加しました

9月23日に開園5周年パーティが開催され、参加させていただきました。平井鳥取県知事や、寺谷智頭町長も出席され、盛大な記念パーティーとなりました。特に印象的だったのは、やはり主役の子供たち。とてもたくましく、それでいてしなやかな心を もっているなと感心されました。

日々自然のなかで四季の移ろいを肌で感じ、子供同士共に助け合いながら知恵をしぼって 森を遊ぶ。今や智頭町の代名詞ともなりつつある 森のようちえん まるとんぼう。これからの益々の発展をお祈りします。
(宮北)

元氣の出る言葉

中村天風師



人生というものは、そこに進歩と向上があつてこそ生きがいを感じ、勉強もし、努力もするんだぜ

心の態度をどんな場合があつても、尊く強く清く正しく、この心の態度を常にきびしく、自分自身を守っていくことが大事。
大事なことを忘れて、ただ一生懸命に勉強し努力しても、本当の人生の勝者にはなれない。
どんな場合があつても、自分の心の態度を積極的にするということを忘れてはなりません。
(長野)

今月の花

「イタドリ」春の山菜ですが、花は初秋に咲きます。



社長が薦める今月の一冊

智頭町 森のようちえん

まるたんぼう ~空と大地と太陽と~

西村早栄子著 まるたんぼう刊

頬にあたる空気が切れるように冷たくなる冬でも、まるたんぼうは毎日森に通う。シーンと静まり返った森は神秘の世界。足元の氷は凍り、岩に沁み出る水もつららになる。木々の間からこぼれる日差しはいつもより柔らかく、その光に照らされて樹冠からバラバラと落ちてくる雪はキラキラと輝きながら子どもたちに降り積もる。こんな神秘的な冬の森の姿を大人たちは知らない。(P-88)

子どもたちの後について、私も一緒に歩いたことがあります。小雨降る春の一日、合羽を着た子どもたちは、自然の中でのびのびと明るく遊んでいました。やがてたくましい体としなやかな心を育てていくにちがいないと、いまでも彼らのエネルギーを強く感じます。



5年も前にこの幼稚園を創るにあたり、西村早栄子さんと協力された皆様の勇気と、子どもたちへの熱い思いに感服します。日本の明るい将来を予感させます。(山根)

*写真集を抽選で2名様にプレゼントします。ご希望の方は、編集部までお知らせ下さい。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡しただけでも結構です。正解者の中から抽選で1名にスターバックスコffee詰合せを差し上げます。クイズの締切は10月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 最近話題になった鳥取県知事のコメントで、次の〇〇〇に入る言葉は何でしょうか?



「鳥取に〇〇〇はあるが、スタバはない」

先月号の答は、「マリン・チリッチ」でした。庄原市福岡様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp



クリスマスキャンドル作りをします

下記イベントにて、使用済み天ぷら油を使って、クリスマスキャンドルを作ります。日時会場は次の通りです。詳細は編集部まで。

- *11月1日, 2日 出雲産業フェア2014
出雲ドームにて、10時から16時まで
- *11月16日 2014松江市環境フェスティバル
くにびきメッセにて、10時から16時まで

編集後記

10月5日、千家国麿様と高円宮典子様の結婚式が出雲大社で執り行われました。地元出雲市では、この慶事に湧いています。このような佳きことにあやかろうと全国から観光客が来県されています。楽しい思い出を作っただけで、私たちもおもてなしの精神で、観光客の方々をお迎えしたいと思います。

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。

本代は¥1,800+税(税込1,944円)です。

蔵書新着情報

- ・みんな、神様をつれてやってきた 宮嶋望 地湧社
環境開発工業(株)山田社長からご恵贈賜りました。
- ・里山資本主義 日本経済は「安心の原理」で動く
藻谷浩介 角川書店
- ・会社に入ったら三年間は「はい」と答えなさい
園部貴弘 東洋経済新報社
- ・トコトンやさしい品質改善の本
岡田貞夫 日刊工業新聞社
- ・キッズニア流! 体験のすすめ
住谷栄之資 ポプラ社



発行日: 毎月10日
発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S 通信編集部 長野
E-mail: h.nagano@e-skk.co.jp

印刷: 授産センターよつば印刷係

ホームページリニューアル (<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部へ遠慮無くお申し付け下さいませ。